228 戦後のアメリカ・ヨーロッパ諸国

1 戦後のアメリカ合衆国 (P.204 1年)

大統領	国内問題	外交問題
1945 トルーマン(民)	1949 フェアディール(ニューディールを継承) ○マッカーシズムによる「赤狩り」	1947 トルーマン＝ドクトリン(封じ込め政策) マーシャル＝プラン 1950～53 朝鮮戦争
1953 アイゼンハワー(共)	○黒人運動の高まり(キング牧師の登場) ○軍産複合体の成長	1957 アイゼンハワー＝ドクトリン 1958 レバノン出兵 1960 対キューバ経済制裁 1961 キューバと断交
1961 ケネディ(民)	○ニューフロンティア政策 1963 ワシントン大行進(奴隷解放宣言100周年を記念した黒人解放運動の1つ) ケネディ大統領暗殺	1961 「進歩のための同盟」提唱(中南米諸国の改革・近代化による共産化防止) 1962 キューバ危機 (P.218 2) 1963 部分的核実験停止条約
1963 ジョンソン(民)	○「偉大な社会」計画 ○黒人解放運動，反戦平和運動 1964 公民権法成立 1968 キング牧師暗殺	1965～73 ヴェトナム戦争に介入 (P.219 5) ○ヴェトナム反戦運動の開始
1969 ニクソン(共)	○スローガン「法と秩序」 1969 大統領補佐官にキッシンジャー 1970年代 スタグフレーションの進行 1974 ウォーターゲート事件(1972)で辞任	1971 ドル防衛政策，金・ドル交換停止(1973より変動相場制へ) 1972 中華人民共和国への訪問(デタント外交の1つ) (P.222写) 1973 ヴェトナム撤兵 核戦争防止協定
1974 フォード(共)		
1977 カーター(民)	1979 スリーマイル原発事故	○人権外交の展開 1978 エジプト・イスラエル平和条約仲介 1979 米中国交正常化
1981 レーガン(共)	○「レーガノミックス」政策の展開(「双子の赤字」) 1987 ブラックマンデー	1985 プラザ合意 ○対ソ強硬路線から平和外交への転換 1987 INF全廃条約調印
1989 ブッシュ(共)	○国内経済の停滞	1991 湾岸戦争
1993 クリントン(民)	1993 パレスチナ暫定自治協定調印 ○IT(情報技術)革命	1994 北米自由貿易協定(NAFTA)発足(米・カナダ・メキシコ)
2001 ブッシュ(共)		

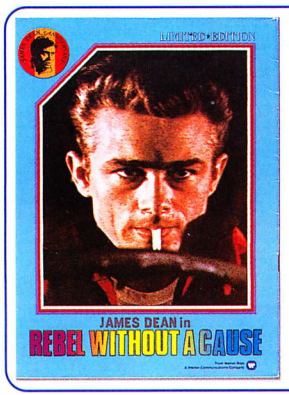
マッカーシー議員(1908～57)冷戦拡大の中で「赤狩り」を推進，チャップリンなど多くの文化人・政治家が追放された。

ケネディの大統領就任演説 ニューフロンティア政策を掲げ，史上最年少(43歳)の大統領となった。弟のロバート＝ケネディ司法長官らとともに革新的政策を進めたが，1963年11月22日テキサス州ダラスで暗殺された。

徴兵カードを燃やす若者

ヴェトナム反戦運動 1965年以降のヴェトナム戦争への本格的介入は，アメリカ国内に賛否両論をまきおこし，反戦運動が盛り上がった。

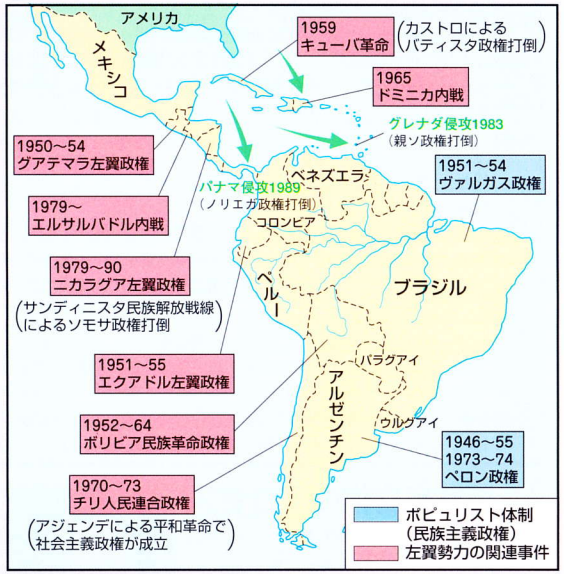
グレナダ侵攻(1983年)「強いアメリカ」を標榜したレーガン政権は1980年代，グレナダやパナマなどに侵攻，左翼勢力や独裁政権に打撃を与えた。



ジェームズ＝ディーン(1931～55)
―映画「理由なき反抗」が描いたもの―

1955年9月30日，24歳の若さで他界した俳優ジェームズ＝ディーン。主演映画「エデンの東」(米・1954年製作)・「理由なき反抗」(米・1955年製作)で演じた既成の社会に反抗し苦悩する若者像は，**崩れゆく伝統的アメリカ社会の姿を鋭く映し出し**，多くの人々の共感を得た。ジェームズ＝ディーンは今も人気が高い。

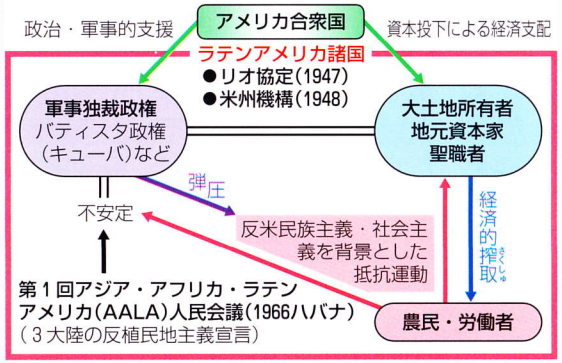
2 戦後のラテンアメリカ (P.172，191 3)



アジェンデ大統領(チリ，任1970～73)

アジェンデ大統領はピノチェトの軍部クーデタで死亡

ピノチェト大統領(任1974～90)

解説 米資本が多く投下された中南米では，1970年代まで，左翼の革命運動を抑えるため，チリなどで**米に支援された軍事独裁政権**が生まれた。

現代ラテンアメリカの社会問題